

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】(ユニット2)

Table with 4 columns: 事業所番号, 法人名, 事業所名, 所在地, 自己評価作成日, 評価結果市町村受理日. Contains details for the facility in Kushiro.

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 1 column: 基本情報リンク先URL

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 2 columns: 評価機関名, 所在地, 訪問調査日. Details the evaluation organization and date.

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の高齢化や介護の重度化が進む中、どのような状態になっても最後までその人にあったサービスを提供できるよう、内外の研修の充実を図り職員が常に最新の知識と技術で支援が行えるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、苫小牧市の西方向にある閑静な住宅地に位置しており、2階建て2ユニットのグループホームである。道央自動車道苫小牧西インターや国道36号線からも近く、利便性のよい地区である。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

Main evaluation table with 4 columns: 項目, 取組の成果 (with checkboxes), 項目, 取組の成果 (with checkboxes). Rows 56-62 evaluate various service outcomes.

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を作成し、共有実践できるようわかりやすく、見えやすく掲示している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会で行われる様々な行事に参加したり、事業所の行事に招待したりして日常的に交流している。また、定期的に開催する運営推進会議には町内会の代表者等に参加してもらっている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日常の中で散歩や外出行事等において外部で認知症への理解や支援方法を実践し、地域の人に向け発信している		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	定期的に関しホームの取り組みや状況の報告、意見交換を行っている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要時には情報の共有を行い密な連携に努めている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会や内外の各種研修に参加し、知識の向上を図り身体拘束しないケアに取り組んでいる		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	独自の委員会活動や各種研修等を通じ、継続的な学習を行い虐待の防止を徹底している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内外の研修や勉強会を通じ知識を得る機会はあるが活用する機会はない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前から面談などを通じて理念等を理解していただき契約の際には十分な説明を行い納得してもらっている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時には率直な意見や要望を聞くよう努めている他、意見箱を設置して直接聞けない意見等の把握に努めているが利用はない状況		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃からケアに関する小さな疑問や気になったことなどを話す時間を作り必要時には会議等で話し合う場を設けている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	独自の能力評価システムにおいて評価、面談を行い向上心を持っていただけるよう努めている。また、職員の働き方にも幅を持たせることができるよう新たな職員区分を設置し柔軟に対応できるよう努めているが職員の求める水準には達していない		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	独自の能力評価システムを活用し管理者、職員が面談を行い把握している。毎月1回ホームでの勉強会を行い年1回苫小牧エリア全体での研修も行っている。外部研修には積極的に参加するようにし内部にフィードバックしている。また、本年より毎月1回健康会札幌エリアに管理者が行き研修会を行うことで管理者の質の向上に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	市内グループホーム連絡会に加盟し研修への参加や行事での交流を図り情報交換の場を設けている		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日頃から本人に寄り添い、個別に話を聞ける環境を作り各種要望に応えられるよう関係づくりに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	上記同様、ご家族様に対してもしっかりとした関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談や事前に共有していた情報等を元にその時点で必要なサービスを見極めるよう努めている。また、初期はプランの実施期間を短く取り柔軟に対応できるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	事業所理念に基づき本人の有する能力に応じた支援に当たり自分らしい暮らしの実現を目指して関係作りを行っている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃から日常の様子を伝えたり行事に参加していただいたり時にはご家族様等にも支援者として協力を仰ぎ一緒に本人を支えていく関係を築けるよう努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人が来訪された時には快く迎え入れその関係を大切にしている。馴染みの場所に関しては必要に応じて訪れたりそこについて会話をしたりと関係性の維持に努めている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係性等を把握しそれぞれが有する能力に応じて助け合い共に生活する仲間として支え合えるようにしている		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も必要に応じて相談に乗れる体制は整えている		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中でアセスメント、モニタリングを行いケアマネジメントの一連の流れを通して本人の希望・意向を把握 検討しプラン内容に活かすよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用したアセスメントを行いそれぞれの生活歴やなじみの暮らし方、サービスの経過等の把握を行っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活シートやケアノートを活用し細かな観察と記録を行い情報の共有、把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、参加可能な職員でケアカンファレンスを開き利用者の状況のみならず意見やアイデア、環境整備等様々な検討を行いケアプランを作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のケアプランに基づき25同様細かな観察と記録を行い常に情報の共有と把握に努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	サービス提供期間中であっても状態の変化に合わせて検討を行い柔軟に対応できるようにしているが職員不足から十分な対応ができない場合もある		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会活動への参加やボランティアの活用などを通じて地域の中で豊かな暮らしが営めるよう努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関との情報交換を行い柔軟な対応ができるよう連携を図っている		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度の訪問看護ラウンドを通じ健康管理を行っている他、常に新しい情報を提供することで適切な医療が受けられるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入、退院時には互いに十分な情報交換を行い適切な医療が受けられるよう支援を行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	看取りケアについての学習を行って知識を深めている他、実際の場面ではご本人、ご家族職員と十分な話し合いを繰り返し行いチームで支援を行えるよう努めている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変時の対応や連絡体制についてマニュアルを作成し理解することで柔軟に対応できるよう努めている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に数回、定期的に災害に備えた訓練を行い実践力を身に付けている。また、訓練には近隣施設や地域の方々にも参加を促し協力を依頼している。自身や水害に関してはマニュアルの整備、必要物品の整備に努めた		

#### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々の生活を重ねていくことで忘れがちだが勉強会などの機会を通じて定期的に学習を行い個々に合わせて誇りやプライバシーを損なわないような言葉かけや対応ができるよう研鑽している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望や意思をできる限り汲み取り自己決定できるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	それぞれのリズムやペースを尊重しメリハリのある生活が送れるようその時々で一日の流れを決定し支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好みを大切にしながら季節に合ったきれいな服装で過ごせるよう支援している他、訪問理美容を利用した定期的な散髪等もやっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや配膳など本人のできることを一緒にしながらそれらの能力ができる限り損なわれないよう配慮した支援を行っている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	それぞれの嗜好等も大切にしながら量、栄養やバランス、水分量、形態など十分に配慮した支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず、それぞれの能力に応じた方法で口腔ケアを行い口腔内の清潔が保てるようにしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンやタイミング、状態に合わせた対応など十分にアセスメントを行いできる限りトイレでの排泄、自立に向けた支援を行っている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や飲食物の工夫などを行い便秘しないようアプローチしているが疾患等の影響もあり便秘になりやすい方が多く下剤も使用した排便の促しを行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	入居者一人一人の希望に応じた時間帯での支援は行っていないが入浴剤を変えたり温度や入浴時間を好みに応じて変え楽しんでいただけるよう配慮している		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	落ち着いた場所でゆっくりと休息できるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容、容量の確認、配薬、与薬時のダブルチェックなどを通じて間違いなくしっかりと服薬できるよう支援している。内服薬の変更時には状態の観察を行い都度、主治医に情報提供している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中でそれぞれの能力や得意、不得意などを見極めながら実施していただき楽しく張りのある生活できるよう支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	常に希望に沿った外出を行えてはいないが外出行事などの際は事前に入居者の皆さんから行きたい場所、したいことなどを確認しそれらを反映させた外出行事が行えるよう努めている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の能力に応じ本人が少額のお金を所持し希望時には使用できるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の能力や状況を把握したうえで希望に沿って電話や手紙のやり取りが行えるよう支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一般家庭と同じようなしつらえをし安心できる環境作りに努めている他、季節ごとにリビングの飾りつけを変えるなど外出が困難な方でも適度な刺激が得られるよう工夫も行っている。また、温度湿度計で毎日2回のチェックを行い適度な温湿度が保てるよう工夫している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれが安心できる場所の確保や気の合う入居者同士気兼ねなくお話しができるような座席配置を心掛けている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具を配置し馴染みの物やご家族の写真を飾るなどプライベートでゆくりと過ごせる安心した空間作りに努めている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に配慮した設備環境や動線を意識した家具配置などを行っている他、場所を理解しやすいように色や見た目にもこだわった名札の配置も行っている		